



公民館図書室つうしん

「7月の新刊紹介」

◇ 文学・小説 ◇



坂本 龍一 『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』

「何もしなければ余命は半年ですね。」
ガンの転移が発覚し、医師からそう告げられたのは
2020年12月のことだった。

「命が尽きる瞬間まで、新たな曲を作りたい。」

その日が来る前に言葉にしておくべきことがある。
自らに残された時間を悟り、教授は語り始めた。

創作や社会運動を支える哲学、国境を越えた多彩な運動、
坂本家の歴史と家族に対する想い、ガンと共に生きる
こと、そして自分が去ったあとの世界について――。

世界的音楽家の最期の日々を綴り、足跡を未来に遺す。

No Image...

長野 正孝 『古代史のテクノロジー』

縄文時代に建てられた三内丸山遺跡の「縄文タワー」
縄文人は人力だけでどのようにしてこの15メートルの塔を
建てたのか？

技術者である著者が精緻にそのプロセスを解説する。
さらに、近世まで奈良に「奈良湖」があったことを突き止め、
奈良湖と大阪湾に通じる水路である「河内・大和大運河」
など、重要な交通手段である水上交通に着目し古代日本
の実像に迫る。

「古代人は治水を考えなかった」という専門家ならではの仮説も
提唱。

No Image...

長尾 和宏 『歩く人はボケない』

散歩の効用はこんなにある！
認知症予防は驚くほど簡単。
免疫力アップで肺炎予防！
幸せ顔になり人生が変わる。

- 生活習慣病、ガン、認知症の根っこは同じ
- 認知症は「脳の糖尿病」
- 過度な運動は命を縮める
- 認知症予防のためには野菜も重要
- 認知症の薬は効くのか
- 太陽光を浴びないと、美容上に逆効果
- 歩くことを苦行だと思っている人に

No Image...

野口 悠紀雄 『日本の税は不公平』

自民党裏金事件の本質は、
「税の不公平」だ！
自民党の裏金問題が暴露され、今に
至るまで国民の怒りが爆発している。
この怒りは、政治家が巨額の資金を
受け取りながらも、税を払っていない
からではないのか。
なぜこのような不公平がまかり通るの
か。
日本の税制は「公平な税制」なのか。
日本のあるべき税制・財源論を検証
する一冊。

No Image...

図書購入のリクエストは随時受け付
けておりますので、気になる本があ
ればお気軽にリクエストして下さい。

右の QR から
も
リクエスト可
能
です。



※この他にも新刊図書多数ございます。

問い合わせ先：南富良野町教育委員会生涯学習係 TEL 52-2145